

日本英学史学会 中国・四国支部

ニューズレター

No.86

Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter

<エッセイ>

シェイクスピア歿後 400 年

竹中龍範

4月23日付けメールにて馬本事務局長より巻頭言執筆のリマインダーをいただき、慌ててテーマを考えたところであるが、奇しくも4月23日はシェイクスピアの命日、しかもその歿年1616年から数えて本年2016年はちょうど400年に当たる。その誕生日をめぐっては4月23日という説と、洗礼日の4月26日とする説とがあるようであるが、命日のほうははっきりとしている。祥月命日であると同時に、いわば祥世紀命日でもある。日本では本年が夏目漱石歿後100年であることに加え、さらに来年は生誕150年にあたるということで、さまざまな企画が予定されているようであるが、英国においてはこのシェイクスピア歿後400年記念の行事がにぎやかに行われていることであろう。

シェイクスピアの作品中、ハムレットの‘To be, or not to be: that is the question:’が*Japan Punch*にワーグマンによって‘Arimas, arimasen, are wa nan deska:’（「アリマス、アリマセン、アレハナンデスカ」）と訳されたのが明治7（1874）年、以来、わが国におけるシェイクスピアの受容・研究がどのようになされてきたかについては、豊田實『日本英学史の研究』（岩波書店、昭和14）の第二部第一章「日本に於ける英文学研究」、第四節「劇（主としてシェイクスピア物）」や同氏の*Shakespeare in Japan: An Historical Survey*（岩波書店、1940）を始めとして、さまざまな形でまとめられている。これについて、わが支部の「日本英学史学会広島支部 設立趣意書」（1977年秋）には

昨今、英語・英文学の研究は隆盛を極めるに至っている。一例をあげれば、シェイクスピア研究の業績量が1964年（シェイクスピア生誕400年）には、欧米に匹敵したと伝えられるほどである。この隆盛の基をなしたものは、日本語と外国語との接触過程でえられた日本人の学問、すなわち「英学」に存したことはない。

と記されていることを思い出していただきたい。この支部発足のころはまだ良き人文主義が生きていたのであろうか。ケンブリッジ大学においてシェイクスピアを必修科目から外すかどうかの議論が行われていると報じられたのが20世紀から今世紀にかわるあたりであったかと思うが、今や文系学部など要らないと言われる時代になって、この400年後の世界にシェイクスピアの霊がよみがえったら何と云って嘆くであろうか。“To be reborn, or not to be reborn: that is the question:”などのせりふ、否、恨み言を残してあの世に帰っていくのであろうか。

今から30年近く前、英国留学中にStratford-upon-Avonを訪ねたが、British Rail本線のLeamington Spaから支線の列車に乗り換えるときに、駅の放送が何度聞いても /'stræpm/ としか聞こえなかったことが思い出される。

（香川大学／日本英学史学会中国・四国支部副支部長）

日本英学史学会 中国・四国支部
平成28年度 総会・第1回(通算74回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成28年度支部総会、及び第1回(通算第74回)支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、研究発表ならびに資料紹介が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日時： 2016年5月28日(土) 12:30 受付開始
会場： 安田女子大学 9号館 9523 教室 (5階) (アストラムライン安東駅より徒歩4分)
〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1 TEL 090-1185-4814 (会場担当 松岡携帯)
参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会 (13:20~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、新年度活動計画、他

開会行事 (14:00~14:05) 支部長挨拶

研究発表 (14:05~15:15)

「助動詞「た(だ)」の英・仏語訳をめぐって—『出家とその弟子』とその英仏訳本からの考察—」
野村 勝美 (日本英学史学会中国・四国支部会員)

日本語では助動詞「た(だ)」を使って、すでに起きた出来事や状態を表すのに対して、英・仏語での表現はそこぶるコンプレックスである。両者の翻訳関係を、幸い手元にある、倉田百三の『出家とその弟子』とその英訳本と仏訳本とを用いて明らかにしてみたいと今回取り組んだ。所期のねらいを一応明確にできたので、報告してみたい。
--

資料紹介 (15:30~16:40)

『広島英学史事典』掲載項目候補リストにみる広島英学の系譜

馬本 勉 (県立広島大学)

中国・四国支部の前身である広島支部において、『広島英学史事典』の出版を目指した小委員会が昭和57年に発足し、小項目(見出語)選定の作業が進められた。この事典は完成をみていないが、昭和58年にまとめられた小項目一覧には、広島の英学を知る上で重要な人名300、学校名80、事項ほか150が収録されている。本発表では、30年以上前に作成された小項目一覧(手書きリスト)を紹介し、広島英学の系譜を見つめ直す機会としたい。
--

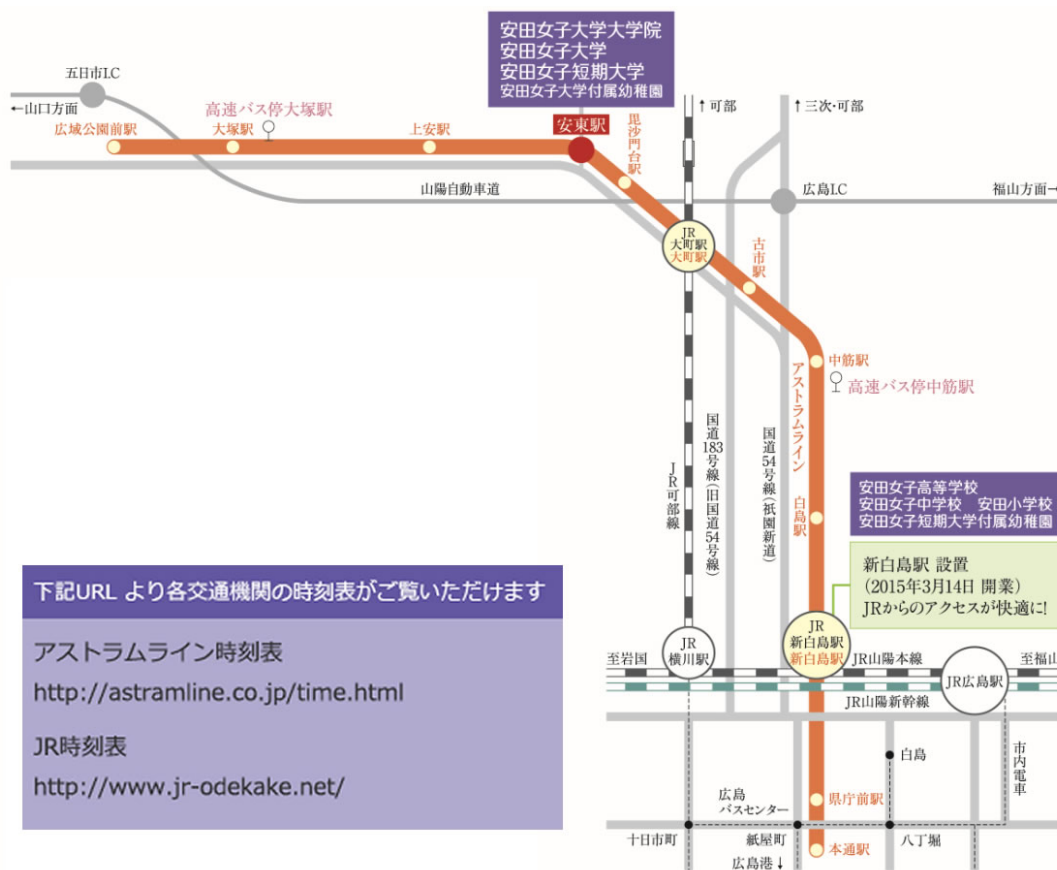
閉会行事 (16:45~17:00) 副支部長挨拶、写真撮影

懇親会 (18:00~20:00)

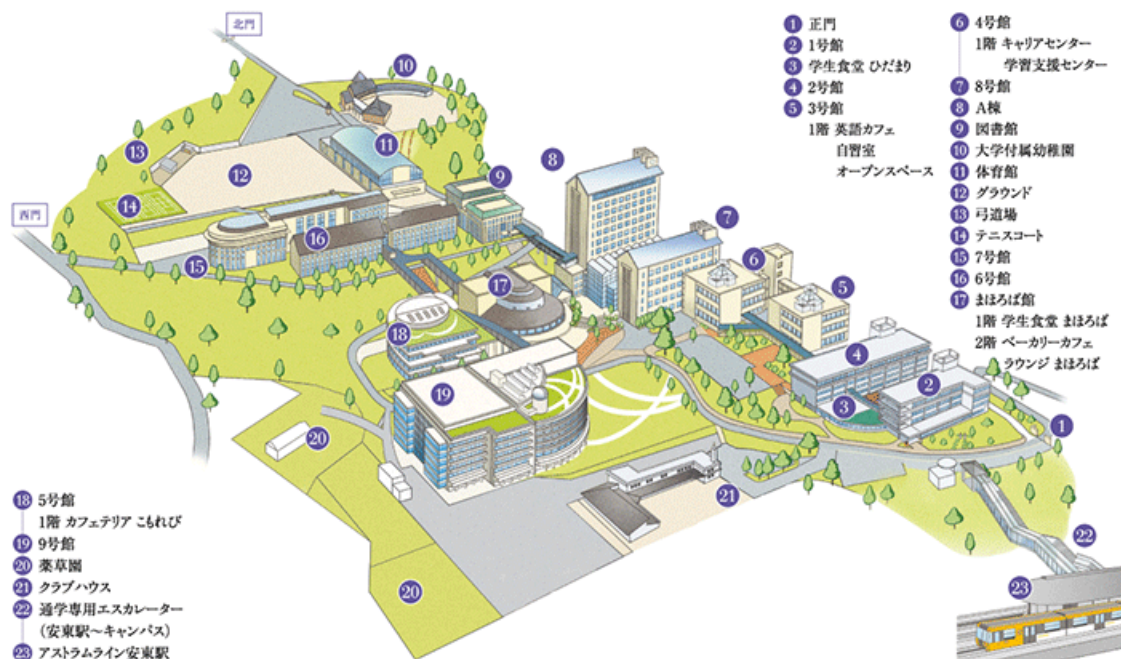
とり楽 毘沙門店 (広島市安佐南区大町東 4-10-28 TEL 082-879-3166) 会費 3,500円

研究例会会場への交通案内

(以下、安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/>より)



キャンパスマップ



会場の9号館は、上図19番の校舎です。アストラムライン安東駅からは、専用エスカレーター(22番)をご利用ください。

中国・四国支部ニュース

>> 事務局よりお知らせとお願い

①名簿の改訂について

「会員登録確認票」をお届けします。変更のある方は5月24日(火)までにお知らせください。併せて、総会・例会・懇親会(5月28日)の出欠について、ご回答をお願いします。

②会費の納入について

5月28日(土)の支部総会、研究例会へご参加の方は、平成28年度年会費(一般3,000円、学生2,000円)を受付でお支払いください。その際に『英学史論叢』第19号、および今年度の名簿をお渡しする予定です。

ご欠席の方へは、例会終了後、今年度の紀要、名簿とともに、年会費用の振替払込用紙をお送りします。

昨年度までの年会費が未納の方には個別にお願いを申し上げますので、お手続きをお願いいたします。2年間未納の場合は「自然退会」となりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

英学史学会全国ニュース

>> 『日本英学史学会報』No.139

2016年5月1日発行。次の記事などが掲載されています。

《巻頭言》本部月例会第500回開催に思う(塩崎智)

《英学史散策》・創成期に触れて(速川和男)

・「スコットランド工学殿堂」入り：お雇い教師
ヘンリー・ダイアー(加藤詔士)

・イェール大学訪問記：重見周吉の足跡を訪ねて
(菅紀子)

《英学史手帖》・神戸外国人居留地研究会例会報告
(神戸市立博物館)(石井容子)

《追悼》梅溪昇先生の遺言(山下英一)

ほか

※本部事務局発行の『日本英学史学会報』を閲覧希望の方は、支部事務局までご連絡ください。パソコンでの閲覧をご希望の方には、PDFファイルを無料で提供いたします。

>> 第53回全国大会

平成28年11月5日(土)・6日(日)

松山大学樋又キャンパス(愛媛県松山市文京町)
にて開催予定

※日本英学史学会(本部)の会員登録には、中国・四国支部とは別に手続きが必要です(入会金2,000円、年会費7,000円)。

英学史情報ひろば

◇第184~188回「広島ラフカディオ・ハーンの家」
ニュース(2015年12月~2016年4月)

◇日本英学史学会東日本支部『東日本英学史研究』
第15号(2016年3月)※本支部会員・江利川春
雄氏による巻頭言「英学者・英語教育者の戦争責
任」所収

◇五十嵐二郎(2016)。「明治の国際人：浅田栄次の
英語教育論と現代」『函館英文学』(函館英語英文
学会)55, 1-14.

◇江利川春雄(2016)。「英語と日本軍：知られざる
外国語教育史」NHK出版。

◇日本英語教育史学会第32回全国大会

平成28年5月14日(土)・15日(日)

東京電機大学東京千住キャンパス(東京都足立区)

【支部会員による研究発表】

・アジア・太平洋戦争期における文部省と陸海軍
の外国語教育政策(江利川春雄)

・ロングマンズ英語読本独習書に関する研究
(馬本勉)

・河村重治郎の考えたこと(河村和也)

・日本英語音声教育史：大正音声学ブームをめぐ
って(田邊祐司)

日本英語教育史学会ウェブサイト <http://hiset.jp/>

広島英学史の周辺(52) 熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。▼この欄で東日本大震災とともにハーンの中にあるtsunamiを紹介したのは、ちょうど5年前の「広島英学史の周辺(32)」でした。▼九州在住の会員諸氏、縁の方々が被災地近くにいらっしゃる方々におかれましては、ご心配の日々をお過ごしのことと思います。皆様に平穏な日々が一日も早く訪れますことをお祈り申し上げます。▼自然の大きな力に加え、私たちの社会も日々、大きく動いています。英学史から学ぶべきことが多いことに気づかされます。▼総会、例会でお会いしましょう。(馬)

日本英学史学会中国・四国支部ニューズレター No.86

2016年5月5日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 田村道美)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学 馬本研究室内

電話&FAX: 0824-74-1725(研究室直通)

e-mail: eigaku@tom.edisc.jp

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部

Newsletter No.86 May 5, 2016